



**青柳 いつみこ** Izumiko Aoyagi

ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。1989年、論文『ドビュッシーと世紀末の美学』により学術博士号。90年、文化庁芸術祭賞。演奏と執筆を両立させる希有な存在として注目を集めており、これまでリリースした7枚のCDが『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』（白水Uブックス）で第9回吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』（平凡社ライブラリー）で第49回日本エッセイストクラブ賞を受賞。2008年3月～9月、ドビュッシー没後90年記念として全4回の『ドビュッシー・シリーズふたたび』開催。同年3月には『ドビュッシー 想念のエクトプラズム』（中公文庫）刊行。7枚目のCD『ドビュッシーの時間』（カメラータ）は日本レコードアカデミー賞にノミネートされる。同年11月リリースのCD『天使のピアノ』も各メディアで好評を博している。2009年2月、『6本指のゴルトベルク』（岩波書店）、4月には『指から感じるドビュッシー』（春秋社）刊行。JMLセミナー入野義朗音楽研究所にて「フランス音楽の解釈と演奏法」開講。大阪音楽大学教授。日本ショパン協会理事。  
オフィシャルHP: <http://ondine-i.net>



**クアルテット・エクセルシオ** Quartet Excelsior

1994年、全員桐朋学園大学在学中に結成。イタリアで行われた第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位、第1回東京室内楽コンクール第1位、第2回大阪国際室内楽コンクール第2位、2009年3月には第19回新日録音楽賞「フレッシュアーティスト賞」など国内外での受賞歴多数。年間80公演を行う日本では数少ない常設の弦楽四重奏団。東京、京都、札幌での定期公演では、ベートーヴェンを軸に王道レパートリーを展開。さらに2008年からは「20世紀 日本と世界」と銘打ったシリーズを開始。



**早川 りさこ** Risako Hayakawa

東京芸術大学卒業。1991年第3回日本ハーブコンクール優勝。92年福井音楽コンクールで最優秀演奏者賞。96年第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハーブコンクール優勝。国内の主要オーケストラと共演多数回。2001年よりNHK交響楽団員。06年より東京芸術大学附属高校及び東京芸術大学非常勤講師。



**森 朱美** Akemi Mori

東京芸術大学卒業。同大学大学院修士課程オペラ専攻修了。オペラ研究所第11期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに留学。2004年プラハ国立歌劇場にて『椿姫』のヴィオレッタ役で主演。数々のオペラに出演の他、『第9』をはじめ、宗教曲のソリストとして、オーケストラとの共演も多い。日本フォーレ協会会員。二期会会員。



**鎌田 直純** Naoyoshi Kamata

東京芸術大学卒業、同大学院修了。1982年『ペレアスとメリザンド』のペレアス役でデビュー。パリ・エコール・ノルマル音楽院首席修了。パリを中心に演奏活動。92年に帰国後、『ホフマン物語』など多数の舞台に出演。ジャン・フルネ指揮『ペレアスとメリザンド』にペレアスで出演。二期会会員、日本フォーレ協会会員。東京学芸大学教授。



**根岸 一郎** Ichiro Negishi

武蔵野音楽大学声楽科、早稲田大学文学部卒業。パリ第IV大学修士課程（比較文学）修了。アンリ・ソーゲ国際コンクール2000「フランス歌曲賞」受賞、第29回フランス音楽コンクール第2位、第11回日仏声楽コンクール第3位入賞。日本フォーレ協会、コンセル・C、東京室内歌劇場会員。日本合唱協会他メンバー。



**和田 ひでき** Hideki Wada

早稲田大学哲学科卒業。日本オペラ振興会育成部修了。日本オペラ協会、東京オペラプロデュース、東京室内歌劇場などに出演。フランスオペラへの出演は多く、『ファウスト』『マノン』『ペレアスとメリザンド』など。また、リゲティ「ル・グラン・マカーブル」にも出演。2003年パリ留学。同年ガスコニュ国際声楽コンクールオペラ部門ファイナリスト。

